

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ中丸支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			二つの部屋に分かれているのが良い。 人が多くなると接触する危険が増える為走ったりせず支援員も一人一人を観察している。 学習室とダンススペースを分けて使用している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			職員1人に対して利用者3人を目安に支援にあっている。 人数だけでなく、障がいのレベルも考えて配置数を考えている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関が階段スロープもない。賃貸物件の為改善は難しい。 構造上難しい。 新入生の為にトイレを使いやすくする為の物を揃えた。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日支援員に注意点検や1日の流れを確認している。 日頃から職員同士話しやすい雰囲気があるので意見を出しやすい。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートは実施しているが保護者の提出率が低いのがやや気がかりです。保護者様からいただいた意見を参考にし、日々の支援等に役立てている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページに公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		苦情についての第三者委員会は設置しているが、評価結果について第三者による評価は行っていない。
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○			コロナ禍のため研修の時間、機会が少なくなっている。 今年度はコロナの影響により回数は少ないが必要な研修には参加している。 本社主催の研修を受けている。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	○			アセスメントはなかなか出ていないが、保護者との会話の中で大切なことは日々の記録ノートに記載するようにしている。 事業所内で会議を行い、都度業務改善と共に支援を行っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当を決めて、ミーティングで活動内容を検討している。 担当者を決めプログラムについての意見交換をしている。 プログラムについて職員がそれぞれ担当をもって進めている。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			ミーティング等で話し合うようにしている。 担当者がマンネリ化防止の為、上司に相談し立案している。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			こまやかとまでは言っていないかもしれないが、課題を適時変えるように話し合っている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず打合せをすることは難しいので連絡事項をメモして、誰でも見られるようにしている。 伝達事項は記録されている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		終了後の打ち合わせの時間が各確保出来ない。雑談の中で共有することが出来るように努めている。当日の子ども達の状況や様子は共有されているが毎日の打ち合わせはできない。打ち合せという形ではないが会話の中で共有している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			正しくとるとなると難しい時もあるが、会話の中で気付いたことは都度言うようにしたり、メモを取ったりして改善につなげるようにしている。
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			担当ごとにモニタリングを作成している。	
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○			
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議に参加したことが無い。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校、保護者様から連絡が入ることが多い。不明な点は都度聞くようにしている。 連絡が来た時点で全体周知、記録に残し「いつ」「誰が」受けたかを明確にしている。

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在のところ、医療的ケアが必要な利用者は入っていない。それぞれの利用者の主治医、かかりつけ病院名や電話番号などを記録してある。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか		○	子育て支援教室の職員からは貴重な情報を頂いているが、他の保育園は連絡を取ったことが無い。定期的な訪問がある。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行の際に、書類をもとに情報の提供を行っている。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	連絡を取ったことが無い。研修には参加したいと考えている。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか		○	コロナ禍で機会がほとんどなかった。コロナが落ち着いたら障がいのない子供と交流する機会を作れるとよい。
	㉕	協議会等へ積極的に参加しているか		○	コロナ禍で機会がほとんどなかった。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		できるだけ共通理解をはかれるように、日ごろの様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりするように心掛けている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者の悩みや療育についての疑問などは進んで聞いて相談に乗るようにしている。
保護者への説明的責任等	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にやっている。説明を求められれば、すぐ答えるようにしている。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		適切はどうか不安であるができるだけ相談に乗るようにしている。また、疑問点等は聞くようにしている。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ禍で保護者が開催できなかったのが残念である。今年度はコロナ禍の為、実施出来なかった。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情が無いように心掛けて療育にあたっている。苦情等については迅速に対応し大きなトラブルには至っていないと思う。苦情等は迅速に主任が対応している。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報は発行していないが、HUGの記録に毎日写真を乗せたり文章で様子が伝わるように工夫している。Instagramを開設し、情報発信をしている。
	㉝	個人情報に十分注意しているか	○		個人名が入っているものはシュレッダーをかける。個人情報に記載されている書類は鍵がついている書庫で管理している。
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉に気を付けている。言葉を上手く発せない子供にはジェスチャーなども使いながら支援にあたっている。
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	やっていないと思う。今後地域住民との交流を図れるように企画できるとよい。
非常時の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		保護者様への周知は十分かどうか少し不安がある。
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、火災と地震に対する避難訓練を行っている。ヘルメットや防災頭巾などが必要ではないか。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか		○	虐待については気を付けているが、つい傷つけるような事を言ってしまうこともある。本社工催の研修を受け、支援にあたり気を付けている。
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時、契約更新時に身体拘束同意書についての説明を十分に行い、保護者様が理解した上で署名、捺印していただいている。
	㊵	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーについては確認しているが、医師の指示書はもらっていない。
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		主任会議の資料を回覧している。ヒヤリハットがあった時には原因を追求し、同じ失敗を繰り返さないように対策をしている。毎月のヒヤリハット報告書で確認し共有している。